

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	椋の木福祉社会 多機能型事業所 わくわく		
○保護者評価実施期間	令和7年3月1日		～ 令和7年3月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	令和7年3月1日		～ 令和7年3月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・お子さんに合わせた環境を提供しています。	体育館という広い環境で全力で体を動かします。また、周囲が気にならないようにパーティションで仕切った空間等、楽しく集中出来る環境を提供しています。	ひとりひとりに合わせた環境を整える。本人の希望も取り入れ工夫をしていきたいと考えています。
2	・町との連携や保育園との連携	3か月に一度町の教育に関わる人達の会議に出席し情報の共有を行っています。また、日々の送迎時に先生と話をし情報共有をしています。	ただ話をするだけでは意味がないので実際に様子を見に来てもらったり、動画や写真を使用した説明等を考えています。
3	・療育の内容の強化	病院でのリハビリに同行させて頂き、そこでやっていることをわくわくへ持ち帰り行っています。(病院の予約もいっぱいになっており次回のリハビリまで時間が掛かるため)	病院でのリハビリで使用している道具がないものも多いため少しずつ揃えていきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士の交流の機会がないこと。	保護者同士の交流の機会をこれまで設けてこなかった。	保護者の方が集まれる機会を作り、お互いの困りごとや相談ごとなどを話し合えるようにしたいと思います。
2	・きょうだい同士で交流する機会がないこと。	きょうだいで利用している児童はいたが、曜日や時間は合わせることがはしなかった。	きょうだい同士での利用はレベルの差もあるため、内容等を念入りに準備しておく必要があると思います。
3	・保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がないこと。	保育所等との交流は設けていなかった。	児童発達支援での保育所等との交流は難しいと感じています。先生に見に来てもらいどんなことをしているのか知ってもらおうのほうがいいと思います。